

平成28年度 学校評価

相生学院高等学校

1 相生学院高等学校概要

相生学院高等学校は、兵庫県相生市を所在地とする株式会社立の広域通信制の高等学校である。学科は普通科のみで、更に普通通信科と普通特進科に分かれる。1月13日現在、生徒数は544名で進学先としては早稲田大学、上智大学、国際基督教大学から同志社大学、関西学院大学等の東西有名私立大学から専門学校等にいたるまで半数近くの生徒(男45%、女42%)が進学している。

2 相生学院高等学校教育目標

- ・自ら学び、生きる原動力に変えることのできる人材を育成する。
- ・独立自尊の気概をもち、自他を愛することのできる人材を育成する
- ・自ら考え行動し、己を源とすることのできる人材を育成する。
- ・国際感覚が豊かで、世界平和に貢献できる人材を育成する。

3 平成28年度重点目標

- ①生徒が望む学びの場の創造。
- ②「確かな学力」の定着を図る個に応じた教育の推進。
- ③教員の指導力向上に向けて教科会と研修会の充実。
- ④進学合格率100%、就職合格率100%の達成。
- ⑤地域から選ばれる学校。生徒が生徒を呼んでくる学校づくり。
- ⑥英語学習、IT教育の充実。

4 学校評価に対する評価基準

- 「4」 …… 達成できている
- 「3」 …… 概ね達成できている
- 「2」 …… あまり達成できていない
- 「1」 …… 達成できていない

学校評価シート

【各教科等の状況】

1 授業等の状況

	評価観点	評価
1	説明、板書、発問など、各教員の授業において指導性が発揮されている。	4 - ③ - 2 - 1
2	視聴覚教材や教育機器などの材料・教具を適切に活用している。	④ - 3 - 2 - 1
3	体験的な学習や問題解決的な学習、生徒の興味・関心を生かした自主的・自発的な特色ある学習が行われている。	④ - 3 - 2 - 1
4	ティームティーチング指導などにおいて、教員間での協力的な指導がなされている。	④ - 3 - 2 - 1
5	学級内における生徒の様子や、学習に適した環境に整備されているかなど、学級経営が円滑に行われている。	④ - 3 - 2 - 1
6	コンピュータや情報通信ネットワークを効果的に活用した授業が行われている。	④ - 3 - 2 - 1
7	学習指導要領などにのっとり、生徒の発達段階に即した指導が適切になされている。	④ - 3 - 2 - 1
8	生徒の実態を踏まえた、個別指導やグループ別指導、習熟度に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習など、個に応じた指導が計画・実施されている。	④ - 3 - 2 - 1
9	学校の教育課程の編成・実施の考え方について、教職員間に共通理解が図られている。	④ - 3 - 2 - 1
10	生徒の学力の状況を把握し、それを踏まえた適切な取組みがなされている。	④ - 3 - 2 - 1
11	生徒の学習について観点別学習状況の評価や評定などが適切に行われている。	④ - 3 - 2 - 1
12	学校図書館の計画的利用や、読書活動の推進に取り組んでいる。	4 - 3 - ② - 1
13	体験活動、学校行事などが適切な管理体制のもとに実施されている。	④ - 3 - 2 - 1
14	部活動など教育課程外の活動が、適切な管理体制のもとに実施されている。	④ - 3 - 2 - 1
15	必要な教科等の指導体制が整備され、授業時数の配当が適切に行われている。	④ - 3 - 2 - 1
16	教育課程の編成・運営がPDCAサイクルに基づいて、改善されている。	④ - 3 - 2 - 1
17	中高連携など学校間の円滑な接続に関する工夫がなされている。	④ - 3 - 2 - 1

上記以外に特記すべき事項について

上記事項などに対する改善策について

設問11について
通信制のスクーリングという特殊な授業体系のため、より生徒にとって有効な授業の姿を教員間で検討、改善を図っているところである。

設問12について
後援者よりかなりの図書の寄贈を受けた。現在整理中であり、整理完了後には、より充実した図書館として開放する予定である。

2 特別支援教育の状況

	評価観点	評価
1	特別支援教育や特別支援学級と通常の学級の生徒との交流及び共同学習が適切に行われている。	④ - 3 - 2 - 1
2	医療、福祉など関係機関との連携が適切に図られている。	④ - 3 - 2 - 1
3	特別支援教育のための校内支援体制が適切に整備されている。	4 - ③ - 2 - 1
4	個別の指導計画や教育支援計画が適切に作成されている。	④ - 3 - 2 - 1

上記以外に特記すべき事項について

上記事項などに対する改善策について

車いすによるトイレの利用への対応は昨年来よりの検討課題である。

現在は在籍していないが、松葉づえ利用者への階段昇降の対応等のマニュアルを検討している。

3 進路指導の状況

	評価観点	評価
1	学校の教職員全体として進路指導に取り組む体制が整備されている。	④ - 3 - 2 - 1
2	生徒の能力・適正等の理解に必要な個人的資料や、進路情報について、収集・活用している。	④ - 3 - 2 - 1
3	生徒の能力・適性等を発見するための工夫等が適切に行われている。	④ - 3 - 2 - 1
4	進路相談が適切に実施されている。	④ - 3 - 2 - 1
5	適切な勤労観・職業観など主体的に進路を選択する能力・態度の育成のための指導がなされている。	④ - 3 - 2 - 1
6	保護者や地域社会、企業等と連携協力が図られている。	④ - 3 - 2 - 1
7	進路指導のための施設が整備されている。	4 - ③ - 2 - 1
8	職場体験活動などが実施されている。	④ - 3 - 2 - 1

上記以外に特記すべき事項について

上記事項などに対する改善策について

生徒の職場見学等に職員もできるだけ同行することで、就職活動が苦手な生徒の支援をすると同時に、就職に対する相談に対しより適切な助言ができるよう努めている。また、授業主を学校に招き、企業説明会を行なってもらうなど、就職に向けての環境の創出に努めている。

【生徒の状況】

1 生徒指導の状況

	評価観点	評価
1	学校の教職員全体として生徒指導に取り組む体制が整備されている。	④ - 3 - 2 - 1
2	問題行動に適切に対処できている。	④ - 3 - 2 - 1
3	非行防止するための教室が実施されている。	4 - ③ - 2 - 1
4	保護者や地域社会、関係機関等と連携協力が図られている。	④ - 3 - 2 - 1
5	生徒を対象とする保健(薬物乱用防止、心のケア等を含む)に関する体制整備や指導・相談が適切に実施されている。	4 - ③ - 2 - 1
6	家庭や地域の保健・医療機関等との連携が図られている。	4 - ③ - 2 - 1
7	法定の学校保健計画は作成・実施されている。	4 - 3 - 2 - 1
8	日常の健康観察や疾病予防、生徒の自己健康管理能力向上のための取組み、健康診断が実施されている。	4 - ③ - 2 - 1

上記以外に特記すべき事項について

特にスクーリング期間中の朝礼・昼礼など、生活指導を通して、マナーや身だしなみに対する指導を行っている。

問7の法定の学校保健計画は、本校の場合該当しない。

上記事項などに対する改善策について

スクールカウンセラーを常駐させ、スクーリング時にカウンセリングを実施するとともに、希望者にはスクーリング時以外でも定期的にも実施している。

健康診断を実施し、運動部所属生徒は必須、所属しない生徒については任意の受診としている。

独立行政法人日本スポーツ振興センターへの災害共済給付制度への加入を奨励している。

2 生徒の人格発達の状況

	評価観点	評価
1	自ら考え、自主的・自律的に行動でき、自らの言動に責任を負うことができるよう適切な指導を行っている。	④ - 3 - 2 - 1
2	保護者と連携協力して基本的な生活習慣を身につけさせる工夫がなされている。	④ - 3 - 2 - 1
3	生徒の適性を発見し能力を引き出し、それを発揮できるようにするための工夫がなされている。	④ - 3 - 2 - 1
4	豊かな人間関係づくりに向けた指導が適切になされている。	④ - 3 - 2 - 1
5	命の大切さや環境の保全などについて適切な指導を行っている。	④ - 3 - 2 - 1
6	社会の一員としての意識(公平、公正、勤労、奉仕、公共心、公聴心や情報モラルなど)について適切に指導を行っている。	④ - 3 - 2 - 1
7	規範意識の向上に向けた指導が適切に行われている。	④ - 3 - 2 - 1

上記以外に特記すべき事項について

上記事項などに対する改善策について

3 安全管理の状況

	評価観点	評価
1	学校事故等の緊急事態発生時に適切に対応できている。	④ - 3 - 2 - 1
2	家庭や地域の関係機関、団体との連携が図られている。	④ - 3 - 2 - 1
3	法定の学校安全計画や、学校防災計画等を作成し、定期的にAED活用法や防災訓練等を実施している。	4 - ③ - 2 - 1
4	危機管理マニュアル等は作成・活用されている。	4 - ③ - 2 - 1
5	安全点検(通学路の安全点検を含む)や、教職員・生徒の安全対応能力の向上を図るための取り組みが適切に行われている。	④ - 3 - 2 - 1

上記以外に特記すべき事項について

上記事項などに対する改善策について

防災訓練等を実施し、相生消防署に報告も欠かしていない。

スクーリングでAEDの活用法の講習会を企画したが、今年度はスクーリングの体制そのものを見直した為実施には至らなかった。

【学校管理運営の状況】

1 組織運営等の状況

	評価観点	評価
1	校長など管理職は、教育目標等の達成に向けて、適切にリーダーシップを発揮し、他の教職員から信頼を得ている。	④ - 3 - 2 - 1
2	校務分掌や主任制が適切に機能するなど、学校の明確な運営・責任体制が整備されている。	④ - 3 - 2 - 1
3	職員会議等が情報交換と課題検討・解決の場として有効的に機能している。	④ - 3 - 2 - 1
4	学校が管理する資金の経理(資金の管理、会計報告、監査等)が適切に行われている。	④ - 3 - 2 - 1
5	勤務時間管理や職専免研修の承認状況等、服務監督が適切に行われている。	④ - 3 - 2 - 1
6	各種文書や個人情報等の学校が保有する情報が適切に管理され、教職員に情報の取扱方針が周知されている。	④ - 3 - 2 - 1
7	授業研究の継続的实施など、授業改善に取り組んでいる。	④ - 3 - 2 - 1
8	校内における研修の実施体制が整備されている。	4 - ③ - 2 - 1
9	校外研修に参加している。	④ - 3 - 2 - 1
10	臨時採用・非常勤講師等の非正規採用職員の資質の確保・向上に向けた取組みがなされている。	④ - 3 - 2 - 1
11	教員の指導状況を把握し、指導が不適切な教員への対応が適切になされている。	④ - 3 - 2 - 1
12	校長等の管理職が定期的に授業観察を行い、教員に対して適切な指導・助言をおこなっている。	④ - 3 - 2 - 1

上記以外に特記すべき事項について

上記事項などに対する改善策について

2 教育目標と学校評価の状況

	評価観点	評価
1	生徒や学校の実態、保護者や地域の意見・要望等を踏まえ、学校としての教育目標等が適切に設定されている。	④ - 3 - 2 - 1
2	学校の状況を踏まえ重点化された中・短期の指導目標等が定められている。	④ - 3 - 2 - 1
3	自己評価の項目は、学校の重点目標を踏まえたものになっている。	④ - 3 - 2 - 1
4	自己評価を年に1回以上定期的に実施されている。	④ - 3 - 2 - 1
5	自己評価の結果を、翌年度の目標等の改善に活用されている。	④ - 3 - 2 - 1
6	全教職員が評価に関与している。	④ - 3 - 2 - 1
7	外部アンケート等(生徒や保護者等対象)を実施し、自己評価を行う上での参考としている。	4 - ③ - 2 - 1
8	授業など学校に対する評価が実施されている場合、評価を行った生徒・保護者の匿名性の担保に配慮している。	④ - 3 - 2 - 1
9	自己評価結果を、設置者に報告している。	④ - 3 - 2 - 1
10	学校関係者評価又はそれに匹敵する評価(但し、外部アンケート等は除きます。以下、「学校関係者評価等」と表記します。)の項目は適切か。また、自己評価との関連性が考慮されている。	④ - 3 - 2 - 1
11	学校関係者評価等のための組織(外部評価委員会のほか、学校評議員や学校運営協議会等の既存の組織を活用する場合を含む)が構成されている。	4 - ③ - 2 - 1
12	学校関係者評価等を行う者に、保護者が含まれている。	4 - ③ - 2 - 1
13	学校関係者評価等の結果を、翌年度の指導目標等の改善に活用している。	④ - 3 - 2 - 1
14	学校関係者評価等を年1回以上定期的に実施している。	④ - 3 - 2 - 1
15	学校関係者評価等の結果を、設置者に報告している。	④ - 3 - 2 - 1

上記以外に特記すべき事項について

今年度は、学校の体制そのものを見直すことに主軸をおいたため、全校生徒・保護者を対象としたアンケートを実施することができなかった。一部学習センターで単発的に行われたアンケートの結果を生徒・保護者の意見の一部として反映させている。

若手職員を構成員として、学校の運営全般を見直すための委員会を設置し、中期計画の策定を進めているところである。

上記事項などに対する改善策について

外部評価委員会を早急に設置できるよう努める。

3 設置者と学校の取組の状況

	評価観点	評価
1	設置者が明確な教育方針等を示し、それに基づく学校運営や教育活動が行われている。	④ - 3 - 2 - 1
2	学校の裁量により執行できる予算の措置など、学校の裁量を高め、学校が自らの運営の改善策を講じやすくする工夫がなされている。	④ - 3 - 2 - 1
3	生徒の状況(学力等の状況や問題行動等)や安全管理等(不審者情報等)に関する情報を適切に設置者と共有できている。	④ - 3 - 2 - 1
4	学校が課題と考える事項について設置者と共通理解が図られている。	④ - 3 - 2 - 1
5	設置者と連携し、教材・教具・図書の整備が適切になされている。	④ - 3 - 2 - 1
6	設置者と連携し、学校教育の情報化が適切になされている。	④ - 3 - 2 - 1
7	設置者と連携し、学習・生活環境の充実のための取り組みが行なわれている。	④ - 3 - 2 - 1

上記以外に特記すべき事項について

上記事項などに対する改善策について

【学校・家庭・地域の連携協力の状況】

1 学校に関する情報公開の状況

	評価観点	評価
1	学校に関する様々な情報が、分かりやすい内容で提供されている。	④ - 3 - 2 - 1
2	生徒の個人情報の保護に十分配慮している。	④ - 3 - 2 - 1
3	学校評価(自己評価・学校関係者評価等)結果を広く一般の保護者等に公開している。	4 - 3 - ② - 1
4	学校便りや学級便りの発行など、主として保護者を対象とした情報の伝達・公開が適切に行われている。	④ - 3 - 2 - 1
5	情報公開手段として、ホームページを活用するなど、広く地域住民等に学校情報を周知・公開するための工夫がされている。	④ - 3 - 2 - 1

上記以外に特記すべき事項について

上記事項などに対する改善策について

学校評価の内容をホームページを通じて公表していく方針である。

2 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況

	評価観点	評価
1	学校運営へのPTA(保護者)、地域住民への情報提供と参画及び協力がある。	④ - 3 - 2 - 1
2	地域住民から寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	④ - 3 - 2 - 1
3	学校開放などを実施している。	④ - 3 - 2 - 1
4	学校評議員や保護者との懇談や学校運営協議会の運営を実施している。	④ - 3 - 2 - 1
5	地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源が活用されている。	4 - ③ - 2 - 1
6	授業や教材の開発に地域の人材など外部人材を活用し、より良いものとする工夫がなされている。	④ - 3 - 2 - 1

上記以外に特記すべき事項について

現在ペーロン競漕そのものへの参加協力ができない状況であるので、競漕ではなく、ペーロン船への乗船体験を行なっている。

上記事項などに対する改善策について

3 学校に対する生徒・保護者の意見・要望等の状況

	評価観点	評価
1	生徒・保護者が学校に満足しているかどうかや、重要と考える事項が何かを把握している。	4 - ③ - 2 - 1
2	教育相談体制が整備され、生徒・保護者から寄せられた具体的な意見や要望を把握し、適切に対応している。	④ - 3 - 2 - 1
3	授業など学校に対する評価が実施されている場合、評価を行った生徒・保護者の匿名性の担保に配慮している。	④ - 3 - 2 - 1

上記以外に特記すべき事項について

教育目標と学校評価の項目でも触れたが、今年度は全校的なアンケートが実施されていないため客観的な評価はしづらい状況である。

上記事項などに対する改善策について